

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

		評価日	27年 3月 19日
団体名	ぼろ織りを伝えていこう岩村田宿の会		
事業名	『ぼろおり』でエコ文化伝承事業		
対象経費	201,726円	支援金額	93,000円

事業の目的・内容	目的 佐久に残るくず繭を糸に紡いでの機織り、古生地を裂いて織り込むことで生地を再生させる「ぼろ織り」などのエコ文化及び歴史を伝承するため、昔の機を修理し織り子を育成する。また、車椅子の方でも織れるように改良し、身障者・高齢者の生きがいに役立つ。 将来的には、機織りによるものづくりにより、エコな機織り商品の制作につなげ、身障者・高齢者の生きがいに、就労に結び付けたい。
	内容 佐久に残された明治から大正に作られたと思われる昔の機2台の改修又付属の設備を付けることにより、身障者の方でも織れるように改良する。 機織りができる人材を育てるための機織り教室の開催、機織りに親しんでいただくための機織り体験の開催。

事業の活動実績	昔の機織りを2台修理し1月28日佐久市取手町野沢会館において10時から16時まで機織り体験を行いました。 来場者は38人、内18人の方に機織り体験をしていただきました。 車椅子の方も2名おいでいただき機織りを体験していただきました。
	初心者機織り教室の開催 1回目 2月4日10時から16時4名 (はたの説明、古い布を割いて横糸の代わりに織り込めるようにする、横糸を織り込んでコースターを作る) 2回目 2月18日10時から16時3名 (古い布を割いて横糸の代わりに織り込めるようにする、横糸を織り込んで花瓶式を作る) 3回目3月4日10時から16時3名 (かなの糸から座ぐりを使い糸枠に糸巻きをする、箆通し)



事業の成果・効果	①養蚕王国と呼ばれていた信州佐久における養蚕の歴史を学んでいただくことができた。
	②佐久に残るくず繭を糸に紡いでの機織り、古生地を裂いて織り込むことで生地を再生させる「ぼろ織り」を体験していただき、エコ文化及び歴史を伝承することができた。
	③昔の機を修理し織り子を育成することができた。
	④車椅子の方でも織れるように改良し、身障者の生きがいに役立つことができた。
	⑤高齢者の方も沢山おいでいただき昔を懐かしみ生き生きと機織りをしていただき生きがいに役立つ場を作ることができた。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
その他、評価すべき点等		

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	『お蚕様』とおをつけて様まで付ける佐久における養蚕の歴史を掘り起こし、佐久地方にのこる機織りを今後も修理して織子さんを育成するべく引き続きはた織り教室を開催いたします。 佐久のエコ文化『ぼろ織りを継承し』機織りの音が聞こえる哀愁を感じられるまちづくりをめざします。 8月7・8・9と古生地を裂いて織り込むことで生地を再生させる「ぼろ織り」のエコ文化及び歴史を伝承するため、古くなった捨ててしまう着物を持ってきて頂ければ、無料ではた織りを体験してぼろ織りコースターをお持ち帰り頂けるイベントを開催いたします。 同時に健常者・身障者がはたでおった小物お披露目販売します。 又夏に社会福祉協議会と合同企画で織姫・彦星はた織り体験婚活イベントを開催する予定です。 子供対象の繭から糸取り体験も予定しています。
---------	---